



こ すげ まさ し
小 菅 雅 司

しん わ かい
津 和 会

インフラ危機・公共施設の老朽化について

問 人口減少社会に津市が持続可能なまちであるために、市長に問う。

合併して大きくなった津市に数多くある公共施設がこれから本格的に老朽化を迎えるが、その対応と考え方は。また、現状を把握し、市民が共通の認識を持つために、公共施設白書を作成すべきだと考えるが、市長の考えは。

答 現在、合併特例債を活用した屋内総合スポーツ施設、新斎場、新最終処分場の整備は、視点を変えれば公共施設老朽化への対応でもある。合併特例債対応事業として残っている小・中学校の大規模改造や久居市民会館等の更新を踏まえた久居駅東側周辺整備なども老朽化対応である。将来の老朽化対応を怠りなく進めるには、総合計画に位置付けし、しっかりした財政基盤が必要であるので、行財政改革に同時に取り組んでいく。

公共施設白書については、形は別にして、各事業の5カ年計画や更新計画、インフラも含めての長寿命化計画等をすでに策定している。各事業ごとの優先順位については、中長期の総合計画の中で議論していくべき問題と考えている。

●その他の質疑・質問●

- 建設部、下水道部、水道局が所管するインフラの老朽化は
- 都市核としての中心市街地について、どのような機能と役割を担うのか、また津センターパレス、津城跡のあり方は。そして中心市街地のランドデザインをつくるべきだと考えるが
- 副都市核としての久居駅周辺について
- 自治基本条例について など



▲これから増える老朽化した公共施設をどうしていくのか



いわ わき けい いち
岩 脇 圭 一

いっ しん かい
一 津 会

公共施設の長期的な整備更新の見通しは

問 津市の社会資本整備の方向性について伺いたい。全国的に公共施設が老朽化してきており整備・更新について深刻な問題となってきた。

本市においても公共施設白書を作成し全体把握を行い、市民に公開することが重要であると考える。また、今後の整備にあたってはPFI・PPPなどの民間活力の積極的な活用が望まれるが津市としての考え方は。

答 効率的、効果的に社会資本を整備し、将来の維持管理を含めトータルで質の高い公共サービスを提供するという課題の実現のためには、民間の資金、ノウハウ等を活用していくことは、有効なものと考えている。

PFI・PPPは、公共施設の更新、再編等さまざまな事業において財政負担の縮減だけでなく効率的な財政運営と質の高いサービスの提供を可能とする有効な手段であると考えている。

本市においても、新斎場へのPFI手法の採用、公共施設への指定管理者制度の導入など、民間事業者に行わせるのが適切なものについては、できる限り民間事業者に行わせるという考えで進めてきており、今後においても民間活力を生かした手法を積極的に活用していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 津市の仕事の見える化を
- ・わかりやすい予算と事業の説明づくりを
- 児童館の整備について
- ・市民参加、子ども主体で整備計画の策定を
- ・観音、お城、お城西公園、まん中広場での野外プログラムづくりを
- スマートコミュニティの推進に向けて など



▲長期的視点に立った整備更新の財源確保を